

「岩手ようごの会」 第 16 回実践交流会のご案内 & 第 15 回の報告



平成 31 年 1 月 20 日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

新たな年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

本会は、今年も小さな一歩を大切にして県内養護教諭の職務の充実にむけて一緒に進んでまいりたいと思っております。

さて、本会では第 16 回実践交流会を開催します。昨年、11 月 22 日付け、第 42 回養護教諭研究大会にてご案内を差し上げておりましたが、日時、会場が確定しましたので改めてご案内いたします。ご参加を心よりお待ちしております。

.....第 16 回 実践交流会のご案内.....

* テーマ：「日常の救急処置活動から、子どもの生きる力の成長について考えてみませんか」

* 日 時：平成 31 年 2 月 16 日 土曜日 10：00～12：30

* 場 所：アイーナ 6F 団体活動室 3

* 参加申込み：不要です。直接、会場にお越しください。

皆さんは、保健室における日常のやりとりの中で子どもたちにどのような成長を願って接していますでしょうか？保健室で繰り返される子どもとの会話や雑談の中にも、養護教諭としての思いや教育的意義があると思われまます。そこには、どのような意図や意味があるか、改めて問い直してみませんか。

当日は、緊急時を除く普段の救急処置活動から、子どもの生きる力の成長と養護実践について 2 名の先生からご紹介をいただきます。

皆さんで自由に討議を深めていきたいと思えます。どうぞお気軽にご参加ください。

.....第 15 回実践交流会の様子.....

テーマ：「感染症の危機管理・・・今シーズン発生した感染性胃腸炎の集団発生事例から危機対応を学ぶ」

【日 時】 平成 30 年 10 月 13 日（土）10：00～12：20

【実践紹介】「感染性胃腸炎の集団発生から一対応・対処の実際と課題」

✿盛岡市立見前小学校 平内恵美子先生

✿八幡平市立松尾中学校 熊谷郁子先生

（紹介は、熊谷先生は所用のため、発生時、養護実習中の田村美菜子さん）

週明け、予期せぬノロウイルス集団発生により学級閉鎖を行った臨場的な報告から、健康観察と状況把握、関係者による協議と学級閉鎖措置、危機管理として学校が組織的に対応・対処できたか、その時養護教諭はどう動いたか・どう動くべきであったのか、消毒は誰の責任で誰が行うものか、インフルエンザ以外の感染症の危機管理マニュアルの有無と即効的な動きの可否など、感染症全般に渡る危機管理の在り方等について参加者で協議内容を設定して実践交流を行いました。新採用から中堅、ベテランまで参加者の経験年数を越えた多くの気付きや学びがありました。

<実践交流とシェアリングの紹介・・・抜粋>・・・✿感染症の危機発生時、学校組織の中で誰が誰の指示を受けて周知徹底し、どう動くのか、インフルエンザの対応のようにには動けないことが分かった。根拠と責任は、学校保健安全法に規定されている。慌てないようにしたい。✿改めて健康観察の重要性を認識した。変化の気付きと養護教諭への連絡徹底が両校ともあった。✿まとめ：感染症マニュアルは、各校の実態に合わせたマニュアル（インフルエンザ・ノロウイルス・麻疹等）に変える必要がある。年 1 回は全員で確認する。感染症危機発生時は、マニュアルに準じて校長の指示で全教職員による対応が必要となる。（消毒等も含めて）✿健康観察は各校のスタイルで行うが、流行時の欠席連絡の受け方や観察方法については全教職員で確認が必要である。✿嘔吐については、校内研修が必要、吐物処理物品は各階に設置し表示も併せて行いたい等。（まとめも抜粋となっています）